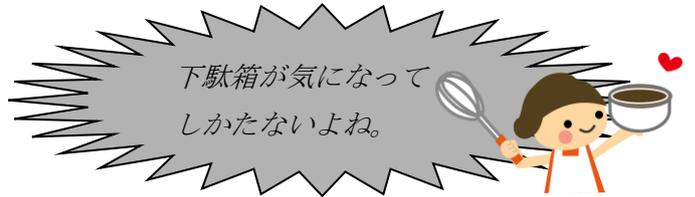




# 図書館のイチオシ



## 人見知り女子の恋愛法則《KADOKAWA》羽林由鶴/著

初対面の人と話すときに緊張して上手く話せない、自分をよく見せようと無理してしまう、どうせ自分は人見知りだから人と仲良くするのは無理、ましてや恋愛なんて……。待って、あきらめるのは早い！！人見知りだって恋愛もできるし、幸せになれます。

この本では、人見知りの種類から人見知りを克服する方法、人生の生き方についてなど、幸せになるためのヒントがたくさん載っています。これを読めば人と話すことが少し好きになるかも。自分のことも好きになるかも！！人見知りの人はもちろん、人見知りでない子にもオススメ^^



【152.1/ヒ】

## 君を読む《河出書房新社》蒼井ブルー/著



2月です！バレンタインです！そんな時期にぴったりの、キュンキュンしちゃう本を紹介するよ！「君がやさしくしてくれた 明日も咳 出ないかな」(p12)、「僕は思わず振り返る 匂いがしたんだ 君と同じ匂いがしたんだ」(p67) などなど、恋をしているときに感じるいろいろな気持ちが短い文章で綴られているよ。どれも心にスッと入ってくるものばかり☆好きな人に会いたくなり、恋を試してみたくなったりするかも。キュンキュンしちゃうよ！！

【911.5/アオ】

♪仰げば尊し  
我が師の恩～

らいぶらりあん ぼーいず

# L B のイチオシ

〇〇先生～！  
LBはこんなにも  
大きくなりましたよ

## ハケンアニメ！《マカシンハウス》辻村深月/著

みなさんは今、何かアニメを見えていますか？実は、毎週何気なく見ているアニメは、数多くの人や団体が関わり、たくさんのお金と時間が費やされてできているんです！

この本はそんなアニメに情熱を燃やす人たちの物語です。プロデューサー、監督、アニメーターの3人の女性が章ごとに主人公となっています。そして、それぞれが今クール一番の“ハケン”アニメを作るため、各々の立場から競い、時に助け合う姿が読みどころとなっています。

また、仕事仲間として3人の男性が登場しますが、関わり合いを通して変化していく奥手な女性3人の心理描写にも注目です！



↑  
選永市の「河永祭り」  
で使用する舟



→  
「灯台下暗し」の  
灯台は建物では  
なく、これ。

「頭隠して尻隠さず」ということばは、欠点などの一部分だけを隠して、全体を隠した気になっているという意味ですが、これは元々、しっぽが丸見えの状態でもキジが茂みに隠れている様子からできたことばだと知っていますか？

この本では、キジが茂みに頭だけを突っ込んでいる様子など、ことばの由来となった状態やもの、場所を写真で紹介しています。他にも、「拍車をかける」や、「引っ張りだこ」、「もぬけの殻」など、よく耳にすることばの写真をぜひ見てみてください。

ところで、同じことを繰り返していつまで経っても進展しないことを指す「いたちごっこ」の由来に、動物のイタチが無関係だと自分はこの本で初めて知りました…。

【本館レファレンス 812/メ】

【本館ポピュラー F913.6/ツシ】

目でみることば《東京書籍》おかべたかし/文、山出高士/写真

# リア充は……外！（涙）





# 図書館のイチオシ



隣のあの子と  
仲良くなりたいな

## 正しい目玉焼きの作り方《河出書房新社》

森下えみこ/イラスト、毎田祥子/監修、井出杏海/監修、木村 由依/監修、クライ・ムキ/監修

正しい目玉焼きの作り方を知ってる？洗濯の仕方は？裁縫はできる？

洗濯、料理、片付け・掃除、裁縫、すべて生活する上で必要なこと。正しくできると、楽しく暮らすことができるかも！これらの家事の基本の『き』が学べちゃうよ♪

でも、この本に載っていることがすべて正解とは限りません。できることから少しずつ挑戦して行って、自分なりの“正しい”やり方を探してみてね☆



【590/タ】

## 空色メモリ《東京創元社》越谷オサム/著（創元推理文庫）



春は出会いの季節。眼鏡をかけ、これと違ってパツとしない河本博士（ハカセ）、外見にコンプレックスがある幽霊部員の楠井、ただ二人（正式な部員は一人）しかない弱小文芸部に眼鏡っ娘がやってきた。名前は野村愛美さん。どうやら彼女、只者ではない。何か隠しているようだ。そんな不思議な野村さんにハカセは恋をする。ハカセの恋は成就するか！？

甘酸っぱく歯がゆい気持ちになるストーリー。気付いたらハカセ、頑張れ！と応援したくなります。ストーリーのおもしろさはもちろんのこと、次々と出てくる登場人物にも注目☆

【F913.6/コシ】

♪春が来た  
春が来た  
どこに来た〜♪



らいぶらりあん ぼーいず

# L B のイチオシ



L B はつくしを食べて  
お腹で春を感じます。



## 彼氏に作りたい料理彼女に作ってもらいたい料理

《主婦と生活社》

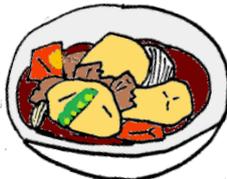
4月は出会いの季節！入学、進学を機に、彼氏・彼女が新たにできるかも！？この本を読めば、もしものときも安心☆

「Yahoo!リサーチ」でのアンケート調査をもとに、ランキング方式で「彼氏に作りたい料理」、「彼女に作ってもらいたい料理」が掲載されています。さらに、1位から5位までのメニューは複数のレシピがあつておトクです！

また、調理時間別の索引や料理以外のワンポイントなどもあり、これから料理を始めようと思っている人にもピッタリです。

女性だけでなく、男性も楽しめる1冊です。

【H596/カ】



↑  
定番のメニューである「肉じゃが」の順位は果たして！？



↑物語の鍵を握るどらやの紙袋

俳句仲間とのオフ会のために上京した吾妻俊策は、ふとしたことからお土産の入った紙袋を他の人の物と取り違えてしまいます。間違えて手にしたその紙袋の中には、実は爆弾が入っていて…。

まるでサスペンス作品のようですが、東京駅を舞台としたドタバタコメディ作品です。職場への差し入れを買いに来たOLや、新幹事長を推理勝負で決めようとするミステリー研究会など、それぞれの理由で東京駅に集まった人々の些細な行動が次から次へと繋がり、大事件へと発展していきます。その様子は題名の示すとおり、まさにドミノ。

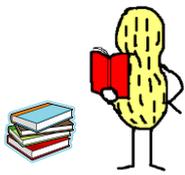
続きが気になる展開の連続で、ページをめくる手が止まりません。

【本館ポピュラー F913.6/オン】

ドミノ《角川書店》恩田陸/著

# 自己紹介してみよう♪





# 図書館のイチオシ

新たな発見！！



**Croak!** 《実業之日本社》黒川宇吉/著、海老沼剛/監修

カエルと言ったらどんなイメージを思い浮かべる?? 緑色、ケロケロ鳴く、いろいろあると思うけど、この本を読むとイメージが変わるかも! 例えば、アマガエルは何種類もいるって知ってた? 砂の中で生活するカエルや、驚きの子育てをするカエルもいるし、何とふ化したときにすでにカエルの姿をしたものまでいるそうです……Σ( ㉨ ; ) カエルって不思議がいっぱい! 親しみやすいイラストなので、本物を見るのが怖い人にもオススメ☆

【487.8/ク】



**雨のティアラ** 《集英社》今野緒雪/著



高校1年生の竜田メグムは三人姉妹の真ん中☆大学2年生の長女・カスミは自由奔放、小学3年生の三女・キリは純真無垢、要領の悪いメグムはそんな家族に振り回されながらも平和に暮らしていた。さて、メグムの家のそばに木が生い茂る洋館があった。通称“ホーンテッドマンション”その洋館には、お姫様が閉じ込められているのだ、狼男が住んでいてきれいな男の子を食べるのだ、生首がいっぱい並んでいたのだ、いろいろな噂があった。その洋館に誰かが引っ越してきた…。初めての恋や進路に悩んだり、空回りしたりしながらも、メグムは前を向いて進んでいく☆

落花のオススメはメグムのおばあちゃん・永子さんです! 永子さんが作る“ババパン”がとってもおいしそうでした!! (>\_<)

【B913.6/コン】

♪で〜んでん

らいぶらりあん ぼーいず

# L B のイチオシ

かたつむりと違い、LBは雨の多い梅雨が

**日本文学者変態論《幻冬舎》爆笑問題/著**

みなさんは近現代作家の作品を読んだことがありますか? 「坊っちゃん」や「竹くらべ」などたくさんの名作が知られています、読んだことは少ないかも。この本はそんな作家たちの経歴や裏話をお笑い芸人である「爆笑問題」がおもしろおかしく紹介しています。

LBのおすすめは何と言っても宮沢賢治! 理想を追求する姿勢や伊達男な一面がかっこいいです!

その他、松本清張や山本周五郎など、名前を知っていても、どんな人かあまり知らない人にも焦点が当たっているため、作家の意外な側面が発見できるかも!? 爆笑問題と一緒に、楽しく紐解いてみませんか?

【910.2/ハク】



↑「銀河鉄道の夜」「注文の多い料理店」で有名な宮沢賢治

「桃太郎」や「さるかに合戦」…いろいろある昔話の中で起こる不思議な出来事は実際にはあり得ることなのでしょうか? この本では、昔話を生物学の観点から検証していきます。

「ウサギとカメ」の競争はカメの見事な作戦勝ちだった! 「浦島太郎」が竜宮城で年を取らなかったのは、竜宮城では巨人になっていたから!? 「ジャックと豆の木」で生きてきたのは、キノコ!? など、思いもよらない事実が次々と浮かび上がってきます。また、所々で紹介される昔話の雑学もおもしろいですよ。



↑桃太郎が鬼退治に行った本当の理由とは?

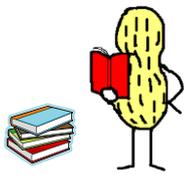
【本館レファレンス 460.4/オ】

**おとぎ話の生物学《PHP エディターズ・グループ》**

蓮実香佑/著

雨の日の散歩もいいね☆





# 図書館のイチオシ

かき氷  
食べたいな♪



## 檻の中のライオン 《かもがわ出版》椋大樹/著

「憲法」って何？学校で習うけれど、詳しいことはわからないという子が多いんじゃないかな。専門的な言葉が多いと頭に入って来ない…でも大丈夫！！この本では、憲法の基本的なことについて、ライオンを国家権力、ライオンを困む檻を憲法に例えて解説しているよ☆イラストと物語の部分だけを読んでも大体の内容がつかめるので、ぜひ気軽に手に取って読んでみよう♪憲法初心者オススメの一冊^^

【323.1/オ】



## 小説の神様 《講談社》相沢沙呼/著



高校2年生の千谷一也<sup>ちたにいちや</sup>は素性を明かさず小説家をしている。作品がなかなか思うように売れず、何を書きたいのか、どうしたいのかもわからなくなり、鬱々とした日々を過ごしていた。そんなとき、一也のクラスに転入生がやってくる。すらりと伸びた手足、長い黒髪、精緻で研ぎ澄まされた刃物のような美しさを持つ美人転入生、小余綾詩風<sup>こゆるぎしいな</sup>。実は彼女も作家だった。しかも彼女には“小説の神様”が見えるという…。

小説ってすごいなと単純に思いました。作家さんが苦しみながら、想いをいっぱい詰めながら、生み出されていく小説。心して読まないのと改めて感じました。

【B913.6/アイ】

夏休みは遠くの国に行ってみたいな♪



らいぶらりあん ぼーいず

# L B のイチオシ



良い子はパスポートを忘れずにね！

## 森の「いろいろ事情がありまして」《信濃毎日新聞社》

### ピッキオと軽井沢野鳥の森の仲間たち/編著

夏本番！海、山、川など自然に触れる機会が多くなりますよね！今回は自然の住人たちのことがわかる本を紹介します。この本には「軽井沢野鳥自然の森」に生息している動植物を独自に調査・研究し、わかったことなどが書かれています。また、写真が大きくて見やすく、珍しい動植物についても詳しく書かれているので、動植物図鑑としても参考になります。

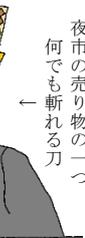
アカガエルの出産、リスを捕食するへび、アカヤマアリの奴隷狩りなどの写真を見ると、自然の営みを感じることができます。

あなたも新たな発見を探しに、森へ出かけてみませんか？

【本館レファレンス 462.1/モ】



↑みんなで森に行こうクマ〜



夜市の売り物の一つ  
何でも斬れる刀

どんな物でも手に入るけど、何か買うまでは決して出ることができない、妖怪たちの不思議な市場「夜市」。子どもの頃、夜市に迷い込んでしまった祐司は、弟と引き換えに野球の才能を手に入れます。成長し、野球部で活躍するも、罪悪感がいつまでも消えない祐司は弟を取り戻すことを決意して…。

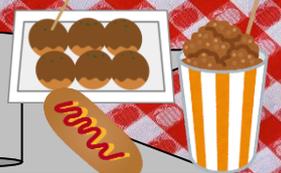
日本ホラー小説大賞を受賞した作品ですが、怖いというよりは、ファンタジー的な要素が強いです。幻想的な世界観に引き込まれます。表題作を含め全2編が収録されており、どちらの話も「そうだったのか！」という驚きの展開が待ち受けていますよ。

【本館ポピュラー F 913.6/ツネ】

## 夜市 《角川書店》恒川光太郎/著

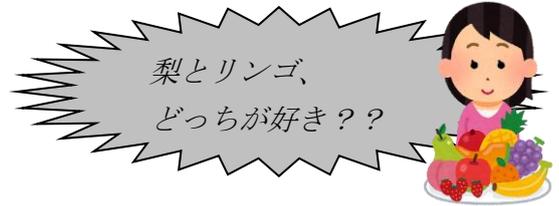


# 夏祭り、いろいろ食べたい！





# 図書館のイチオシ



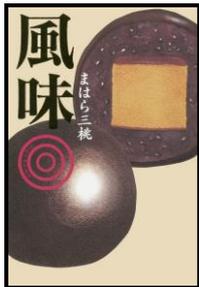
魔女の12ヵ月 《山と溪谷社》 飯島都陽子/著・絵

秋といったらハロウィン！ハロウィンといったら……魔女！ 魔女ってどんなことをして生活していたんだろう。魔女に関連する儀式や、生活の知恵について書かれたのがこの本！ 月ごとの「魔女のレシピ」や「魔女の手仕事」が紹介されているよ☆もちろん、ハロウィンのことも載ってます^^！（落花は「お菓子がもらえる日」って思ってたけどどうやら違うみたい…（汗）



今年の仮装は魔女にしようかなあ…♪みんなはどんな仮装がしたい?? 【387/マ】

風味[さんじゅうまる] 《講談社》まはら三桃/著



「風味」は老舗和菓子店「菓匠・一斗館」の長女。昔から店の和菓子が大好きで、店を手伝っている。ある日、長崎街道（通称：シュガーロード）に並ぶ店同士で新製品を競い合う「SS-1グランプリ」が開催されることに。癖のある祖母カンミ指揮のもと、新製品を作る予定だったが思わぬ出来事が待ち受ける……！！

個性豊かな登場人物たちの自由に動く様子に、ハラハラワクワク、ページをめくる手が止まらなくなる作品。落花オスズの登場人物は、主人公の風味。彼女が店のショーウィンドーを毎日磨くことになった理由が微笑ましい♪(\*^^) 【913/マ】

♪あれLBが  
鳴きだした〜  
グーグーグーグー  
腹の虫♪

# LBのイチオシ

「食欲の秋」という言葉を盾に、いつも食べ過ぎるLBであった…。

スペードの3 《講談社》朝井リョウ/著

みなさんは誰かのために何かしたいと思ったことはありますか？主人公の美知代は、小学校のときに学級委員長を務め、現在はミュージカル女優つかさのファンクラブ「ファミリア」の中心メンバーとして活躍しています。美知代にとって「ファミリア」は生きがいであり、自分の居場所でした。

そんな中、美知代の前に突如現れたのは、「アキ」と名乗るつかさによく似た女性。彼女との出会いをきっかけに、美知代の立場や人間関係が大きく揺らいでいきます。

本作では登場人物の屈折した感情やコンプレックスが緻密に描かれていますが、共感できる点も多いはず。一步を踏み出して行動する大切さを教えてくれる一冊です。

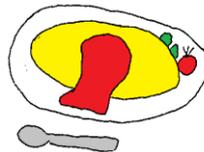


↑  
物語でキーとなる黄色のストール

【本館ポピュラー F913.6/アサ】

季節は秋。LBにとって秋といえば食欲の秋！今回は料理についての本を紹介しします。

オムライスや味噌ラーメンなど、今では当たり前に使われている料理にも、最初にそれを生み出したお店があります。この本は、今ではどこでも食べられている人気料理が生み出されたお店を、誕生の経緯とともに解説しています。お客さんの食べ方を参考に考えられた料理や、初めはなかなか受け入れてもらえなかった料理など、発祥店ならではのエピソードが盛りだくさんの一冊です。



↑  
洋食の定番・オムライス  
最初は今と少し違って  
いたそうですよ。

少し残念なのは、愛知県の発祥店は一軒しか紹介されていないことでしょうか…。それが何かは、ぜひこの本を見てお確かめください。

【本館レファレンス 383.8/ア】

あのメニューが生まれた店 《平凡社》菊地武頭/著



## 何食べてもおいしい秋☆





# 図書缶のイチオシ



冬休みは何するか  
決めたかな??

日本犬好きの取扱説明書(トリセツ)《誠文堂新光社》jamainu/著

来年の干支は「戌」ですね！犬を飼うなら何犬がいいかな！？モコモコしていてかわいいトイプードル？それとも、つぶらな瞳が愛らしいチワワ？いやいや日本人なら柴犬でしょ？すでに犬を飼っているよって人もいるかな？（もしかして猫派…！？）

この本は自分がどんな飼い主タイプなのかが分かるチェックリストがついているよ！タイプ別に語り合っているページや、日本犬の種類、特長、毛色など、犬好きにはたまらない内容がいっぱい☆（ちなみに、落花は「しばたま派」！）猫派の人は犬派の心理が少し分かるかも…？

【H645.6/ニ】

デビクロくんの恋と魔法《小学館》中村 航/著



本屋さんで働く主人公・光は、優しい心の持ち主…なんだけどどこかちょっと残念。大好きだった彼女にも「やさしいんだけど…」とフラれてしまいます（泣）

だけど、光には「デビクロくん」というもう一つの顔が！！デビクロくんは、「デビクロ通信」を街中にばら撒く“ボム”という行為を繰り返します…。挿絵の「デビクロ通信」も要チェック☆光はデビクロくんによって成長していきます。変化した光の恋の行方も気になる…(\*∇\\*)！

クリスマスにピッタリなほっこりする一冊です！映画にもなっているので、映像でも楽しめるよ！ぜひいろんな方法で楽しんでみてね^^♪

【F913.6/ナカ】

毎日、毎日  
寒いので



らいぶらりあん ぼーいず

## L B のイチオシ



L Bはスキー場で  
ラーメン食べます  
ホカホカ☆

101人が選ぶ「とっておきの言葉」《河出書房新社》

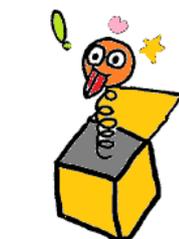
クリスマス、初詣、受験など年末年始はイベントがたくさんあって忙しいですね。そんな忙しいときだからこそゆっくりと読んでもらいたいのがこの本！101人の各分野で活躍する著名人自身の心に響いた言葉を紹介しています。

この本のいいところは言葉だけでなく、心に響いた状況や場面も事細かに説明されているので、一見何の変哲もない言葉でも、そこには深いドラマがあるんだなと感ぜられるところです。

また、2ページごとにまとめられているので、空き時間を使って読むのに適した一冊です。

今の自分にピタッとハマる言葉を探してみませんか？

【159/ヒ】



贈り物に最適な  
ビックリ箱！！

定年退職後に友人の勧めで移動図書館の運転手に再就職したテルさんは、経験のない図書館の仕事に戸惑いながらも図書館司書のウメちゃんとともに、今日も市内をめぐる。親子ほどの年の差コンビの行く先々では、利用者だけでなく謎も待ち受けていて…。「日常の謎」を描いた気軽に楽しめるミステリー集で、どのお話も心が温まります。



2人の乗る移動図書館。  
愛称「めぐりん」

また、登場人物の大半が移動図書館の利用者だけあって、会話の内容も本の話目が盛りだくさん。実在の作家さんの名前が多く登場するので、大好きの人なら共感して読み進められること間違いありません。

【本館ポピュラー F913.6/オオ】

本バスめぐりん。《東京創元社》大崎 梢/著

暴飲暴食は避けようね！！

